

令和 7 年は、全国の延べ 41 ダムで事前放流を実施！ ～利水者の協力のもと、洪水に備え、既存ダムを活用し容量を確保～

令和 2 年度以降、利水者の協力のもと、全国のダムで事前放流の実施体制を整え、洪水に備えています。

令和 7 年は、令和 6 年に比べ台風が日本近郊で発生し、勢力が発達せず通過したこと等により、事前放流実施ダムが減少しましたが、全国の延べ 41 ダムでの事前放流の実施により、洪水調節容量に加え、約 1.1 億 m³ の容量を確保し、台風等による洪水に対応しました。

<令和 7 年における事前放流の実施状況（概要）>

	令和 7 年	（参考）令和 6 年
治水等多目的ダム	17 ダム	101 ダム
利水ダム	24 ダム	83 ダム
合計	41 ダム	184 ダム

【別紙】

- ・ 令和 7 年における事前放流の実施状況（総括）
- ・ 古座川水系七川ダムの事前放流及び洪水調節による治水効果（令和 7 年 8 月 6 日からの大雨）

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 流水企画室 三輪、井出

代表 03-5253-8111（内線 35472、35495）、直通 03-5253-8449

令和7年における事前放流の実施状況(総括)

- 令和7年は、全国の、のべ41ダムで事前放流を実施したことにより約1.1億m³の容量を確保し、洪水に備えた。
(令和7年6月9日～令和7年9月5日)
- そのうち、利水ダムではのべ24ダムで事前放流を実施したことにより約0.7億m³の容量を確保。

＜令和7年に事前放流を実施したダム数と確保容量の内訳＞

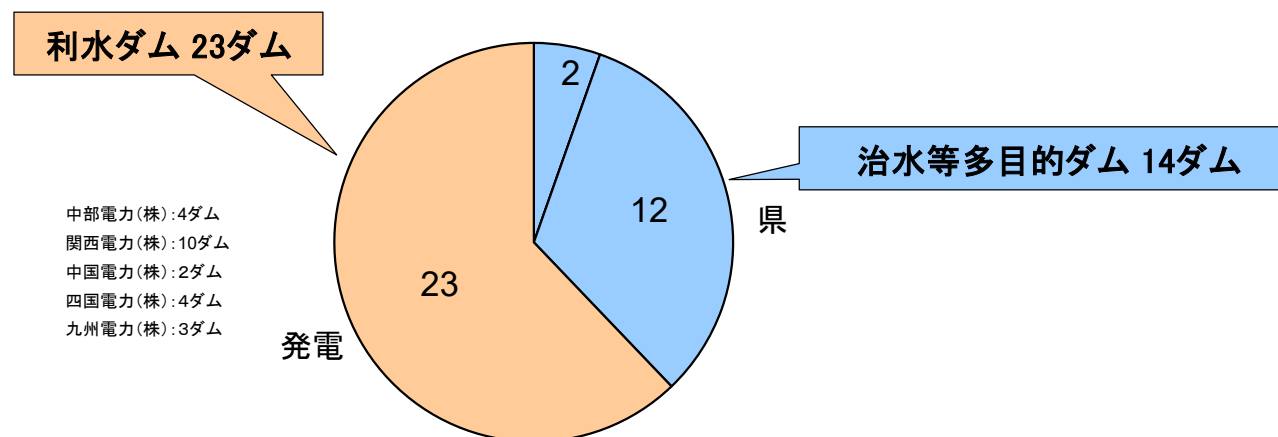
令和7年12月末時点

名称	区分	令和7年の主な降雨						合計 (ダム数の括弧書きは 重複除きの数)
		6月9日 からの大雨	7月14日 からの大雨	8月6日 からの大雨	台風第12号 (8月21日～)	9月2日 からの大雨	台風第15号 (9月3日～)	
治水等多目的ダム	ダム数	2	1	6	1	1	6	17 (14)
	確保容量 (万m ³)	224	55	1,494	1	1	1,955	3,730 【0.37億】
利水ダム	ダム数	1	0	18	0	0	5	24 (23)
	確保容量 (万m ³)	16	0	2,631	0	0	4,138	6,785 【0.68億】
合計	ダム数	3	1	24	1	1	11	41 (37)
	確保容量 (万m ³)	240	55	4,125	1	1	6,093	10,515 【1.05億】

※この他、上記の主な降雨に関連し「すでに水位が低下し、事前放流の容量を確保していたダム」が全国で、のべ261ダムで容量を確保(約11.2億m³)

＜令和7年に事前放流を実施した37ダム(重複除き)の管理者＞

国土交通省



古座川水系七川ダムでの事前放流及び洪水調節による治水効果(令和7年8月6日から大雨)

- 8月6日から大雨により、二級水系古座川水系古座川で和歌山県が管理する七川ダム地点において、162mm (8月10日1時~11日22時)の累積雨量を観測。
- 洪水調節容量の2,000万 m^3 に加え、利水者(関西電力(株))協力のもと、事前放流によりダムの貯水位約9.65m低下させ、更に約610万 m^3 を確保した。
- 七川ダムでは最大流入量約407 m^3/s を観測したが、洪水調節を実施しダムに洪水を貯留したことから、下流へ流れる洪水の量を約68 m^3/s に抑え、約8割低減し、下流の水位低減効果に寄与した。

位置図

